

2021年度 高校入試

傾向と対策

 東京家政学院高等学校

2021 年度高校入試 傾向と対策

国語

1 長文読解（1題出題。評論・エッセイなど）

本文中の漢字の書き取り・読み取りも出題します。

2 国語の知識に関する問題

- ① 類義語・対義語・熟語・慣用句・ことわざなど
- ② 文学史に関する知識
 - ・有名な作品の作者などを問うもの
 - ・日本・海外問わず古典文学から現代文学まで

〈受験生へのメッセージ〉

- 長文読解では以下のような記述問題が数題出題されます。
（例）抜き出し問題・文中の語句を用いる問題・自由記述問題
- 接続語のはたらきや指示語に注意し、文と文のつながりを読みとりましょう。
- 漢字や国語の知識は、覚えればそれだけ身につく部分です。点を落とさないようにしましょう。

今年度の休校措置を鑑み、漢字書き取り問題については中3学習漢字からの出題はありません。

2021 年度高校入試 傾向と対策

数 学

《出題の構成と配点例》

1 基本の計算・一行問題

全 10 問程度で構成されています。数と式といった基本的な計算問題、整数、比例、関数、場合の数など中学の全範囲から出題します。問題文は一行程度で、ミスなく素早く計算していく力が求められます。

2 3 図形に関する問題

2 は図形について、角度、長さ、最短距離、面積、体積、面積比や体積比といった問題を 5~6 問程度出題します。基本的な図形の公式や、空間図形の特徴をしっかりと復習しましょう。また例年作図を課される問題も出題されています。定規やコンパスの使い方、二等分線など基本的な作図方法を確認しておきましょう。

3 は図形の証明問題を出題します。三角形の合同条件、相似条件を利用した証明や、四角形が平行四辺形になるための条件、円周角の定理などを確認しておきましょう。

4 5 応用問題

4 は連立一次方程式や二次方程式をつかって解く問題などを出題します。5 は例年 2 次関数を題材にした問題を出題します。どちらも基本事項を理解していれば解ける内容となっています。

【配点】 100 点満点で、1 問あたり 4~5 点の配分になります。難易度による配点の偏りはなく、均一した配点になっています。

《全体的な傾向と対策 & 受験生へのメッセージ》

中学で学んだ全ての基本的な内容を満遍なく出題しています。高校数学は中学数学を礎に成り立っているため、入試では中学数学の定着度を重点的に量るような作りになっています。学校の基礎問題、章末問題、普段使用している問題集などをしっかりとやり込めば十分得点が期待できます。過去問を数年分解き、出題傾向をつかんだところで各分野の基本事項をしっかりと復習しましょう。ただ毎年計算ミスや答えの書き方で失点してしまうケースが多いです。方程式の答えの書き方、因数分解の表記など、細かいミスをしないよう心がけましょう。

※尚、中学 3 年生で学習する内容のうち、「三平方の定理」と「標本調査」は範囲から除外します。

2021 年度高校入試 傾向と対策

英 語

- 文法問題 : 空所補充、書き換え、並べ替えなど
- 発音問題 : 音の判別
- 会話文問題 : 空所補充
- 長文問題 : 空所補充、書き換え、並べ替え、英文和訳、英問英問 など。

〈受験生へのメッセージ〉

- 中学で学習した文法事項をしっかり身につけましょう。
- 英単語や熟語はできるだけたくさん覚え、正確に書けるようにしましょう。
- 英文の構造を理解し、確実に読み取る力を身につけましょう。
- 読解力を身につけ、長い英文の要旨を捉えられるようにしておきましょう。

今年度休校措置などを鑑み、「関係代名詞」の文法事項を問う設問は出題しません。